

第1号議案

平成26年度（平成26年1月1日～12月31日）に係る報告

1-1 平成26年度に係る事業報告および計算書類

<事業報告>

1. 総括

①2014年度色材研究発表会を平成26年10月23日、24日の2日間にわたり、名古屋市工業研究所にて開催しました。参加者数は194名で、懇親会には46名が参加しました。

②2014年度研究発表会開催に先立ち、実行委員会およびWG会議を設立し、準備、実行、まとめのため合計6回開催いたしました。

③機関誌である色材協会誌を年12回定期刊行しました。年間の総ページは456ページ、うち研究論文は8件、ノート3件、解説18件、総説13件、講座21件、サロン16件、部会・研究会活動報告4件。毎号1,700部を印刷して全会員に配布し、また交流団体機関に寄贈しました。また論文およびレビューへのアクセス数をもとに表彰を行いました。

④9月にETCC 2014 FATIPEC(ドイツ ケルン)に小林副会長が、また、SCAA Conference & CSI Meeting(オーストラリアメルボルン)に森会長が色材協会を代表して参加しました。

- 1) 会誌の発行：例年通り色材協会誌を毎月1回、計12回定期刊行し、会員に配布した。
- 2) 2014年度色材研究発表会を平成26年10月23、24日の2日間に渡り名古屋市工業研究所で開催した。特別講演1件、茂木記念講演1件、一般研究発表35件、ポスター発表39件の充実した内容となった。
参加者総数194名で、懇親会には46名の参加を得、盛況のうちに終了した。
- 3) 色材協会賞の表彰：上記2014年度色材研究発表会期間中、色材協会論文賞1件、色材協会技術賞1件を表彰し、受賞者による記念講演が行われた。
- 4) 優秀講演賞、優秀ポスター賞の表彰：上記発表会閉会后に選考を行い、優秀講演賞6件、優秀ポスター賞4件を表彰した。
- 5) 国際交流：9月3-5日にドイツ ケルンで開催されたETCC 2014 FATIPECに小林副会長が、また、9月18-19日にオーストラリアメルボルンで開催されたSCAA Conference & CSI meetingに森会長が色材協会を代表して参加した。

2. 会員の構成

平成26年度の年度初めと年度末との会員数は次のとおりである。

	平成26年1月1日	平成26年12月31日
維持会員	164名	166名
正会員	850名	877名
学生会員	92名	103名
公共会員	15名	14名
合計	1,121名	1,160名

3. 組織・機構・会議

3.1 役員および名誉会員（平成26年12月31日現在）

	計	関東	関西	中部	
理事	49	30	14	5	会長 森 史郎 副会長 井坂 尚志（本部担当） 副会長 奥村 美明（関東支部） 副会長 小林 敏勝（関西支部） 副会長 高橋 鉦次（中部支部）
監事	3	3	0	0	村田 耕一郎、保坂 洋、服部 俊雄
名誉会員	27	15	8	4	中岡俊雄、吉田豊彦、江口金満、岸直行、熊野勇夫、小島正文、土井幸夫、濱田修一、篠原稔雄、村田耕一郎、桂宏光、森禎良、関根功、伊藤征司郎、筒井晃一、畑宏則、保坂洋、中澄博行、桑野浩一、藤谷俊英、松田充弘、阿部正彦、坪田実、福田博行、服部俊雄、長沼桂、川島徳道、

3.2 本部・支部および事務局（平成26年12月31日現在）

本部	会長 森 史郎 副会長 井坂尚志 事務局 的場隆夫 生沼映子 小田愛子 森田佳代子	東京都渋谷区恵比寿三丁目12番8号 東京塗料会館 〒150-0013 電話 03-3443-2811
関東支部	支部長（副会長）奥村美明	同上
関西支部	支部長（副会長）小林敏勝 事務局 郷司春憲	大阪市北区東天満一丁目9番10号 大阪塗料ビル2階 〒530-0044 電話 06-6356-0700
中部支部	支部長（副会長）高橋鉦次 事務局 中部科学技術センター内 学協会合同事務局	名古屋市中区大須一丁目35番18号 一光大須ビル7階 〒460-0011 電話 052-231-3070

3.3 会議

3.3.1 平成26年度通常総会（2/26）

通常総会は、1号議案：平成25年度に係る報告（事業報告・決算報告・監査報告）及び2号議案：役員任期満了による新役員選任（理事：47名、監事：3名）の件を承認した。また平成26年度事業計画および同収支予算が報告された。

3.3.2 理事会（2/5, 2/26, 7/11, 11/28） 4回

3.3.3 企画運営委員会（3/20, 5/14, 9/11, 12/17） 4回

3.3.4 編集委員会 12回

3.3.5 経理委員会（5/14） 1回

3.3.6 支部運営委員会 関西4回、中部2回

3.3.7 色材協会賞選考委員会 1回

3.3.8 監査委員会（1/28） 1回

3.3.9 予算委員会（11/28） 1回

3.4 委員会・部会・研究会

3.4.1 編集委員会 委員長：柴田雅史、副委員長：久司美登、米山雄二

3.4.2 企画運営委員会 委員長：森史郎

3.4.3 色材協会賞選考委員会 委員長：米山雄二（論文賞）、奥村美明（技術賞）

3.4.4 広報委員会 委員長：高橋俊哉

3.4.5 顔料部会 部会長：吉岡浩正（関東支部）、橋詰良樹（関西支部）

- 3.4.6 塗料部会 部会長：中嶋由元（関東支部）、若狭國彦（関西支部）
- 3.4.7 印刷インキ部会 部会長：浅見 博（関東支部）、中立貴之（関西支部）
- 3.4.8 インクジェット部会 部会長：滝沢吉久
- 3.4.9 顔料物性研究会 会長：船倉省二
- 3.4.10 木材塗装研究会 会長：戸山顕司
- 3.4.11 測色研究会 会長：武井昇
- 3.4.12 印刷インキ技術研究会 会長：藪野通夫
- 3.4.13 ホームページ委員会 委員長：須原常夫

4. 委員会活動の概要

4.1 2014 年度研究発表会実行委員会

平成 26 年度は以下の活動により準備、実行、まとめを行った。

実行委員会（3 回：1/20、7/31、10/22）

WG 会議（3 回：1/ 8、7/29、9/ 7）

5. 行事および事業の概要

5.1 本部

5.1.1 編集事業

機関誌である色材協会誌は年 12 回の定期刊行。年間の総ページは 456 ページ、うち研究論文は 8 件、総合論文 1 件、ノート 3 件、解説 18 件、総説 13 件、講座 21 件、サロン 16 件、部会・研究会活動報告 3 件。毎号 1,700 部を印刷して全会員に配布し、また交流団体機関に寄贈した。

また 2012 年度の協会誌に掲載された論文およびレビューへのアクセス数をもとに以下の表彰を行った。

○2013 JSCM Most Accessed Paper Award

石井利博，橋本和明：“横型ビーズミルによる炭酸カルシウムの粉碎性能の評価”，
J. Jpn. Soc. Colour Mater., 85 [2], 53-58 (2012)

○2013 JSCM Most Accessed Review Award

鷺見卓也，堀越 智：“マイクロ波加熱を利用したナノ粒子合成の特徴”，
J. Jpn. Soc. Colour Mater., 85 [8], 327-338 (2012)

5.1.2 色材協会賞の表彰（10/23）

（論文賞）

○「アントシアニン色素と AI および Fe 含有メソポーラスシリカの複合化と色材としての特性」

東京工科大学応用生物学部⁽¹⁾、静岡大学工学部⁽²⁾

林 怡宏⁽¹⁾、早乙女 綾⁽¹⁾、柴田雅史⁽¹⁾、河野芳海⁽²⁾、

（技術賞）

○「自動車ランプ用耐熱性着色透明膜の作製技術」

㈱日本コーティング⁽¹⁾、甲南大理工⁽²⁾

太田達也⁽¹⁾、有本邦夫⁽¹⁾、辻本明子⁽²⁾、渡邊順司⁽²⁾、池田能幸⁽²⁾

5.1.3 色材研究発表会（10/23～24 名古屋市工業研究所）

特別講演 「自動車塗装・カラーの現状と将来ビジョン」

トヨタ自動車㈱ 梅谷 有亮

茂木記念講演「名古屋城本丸御殿障壁画復元模写」

加藤 純子

一般研究発表	35 件
ポスター発表	39 件
色材協会賞（論文賞）	1 件
色材協会賞（技術賞）	1 件
優秀講演賞	6 件
優秀ポスター賞	4 件
参加者	194 名

5.1.4 研究会活動

- ・顔料物性研究会（2/21、3/11、6/4、9/9、11/11 参加者延 47 名）
- ・印刷インキ技術研究会（1/29、6/20、9/5、1/28(2015) 参加者延 79 名）

5.1.5 国際交流：本年度は9月3-5日にドイツ ケルンで開催された ETCC 2014 FATIPEC に小林副会長が、また、9月18-19日にオーストラリア メルボルンで開催された SCAA Conference & CSI Meeting に森会長が色材協会を代表して参加した。

5.2 関東支部

講座名	開催日	参加者
顔料分散講座 6 講	2/6	116 名
印刷インキ講座 5 講	5/15	83 名
塗料講演会 5 講	5/30	53 名
塗料入門講座 20 講	6/12.13, 7/10.11	81 名
色材協会関係コロイド化学セミナー 6 講	9/30	16 名
印刷インキアドバンス講座 5 講	10/16	21 名
塗料アドバンス講座 5 講	11/5	33 名
顔料物性講座 5 講	11/11	56 名
色材 I T 講座 13 講	12/1.2	140 名

5.3 関西支部

講座名	開催日	参加者
色材セミナー 4 講	5/21	49 名
色材分散講座 5 講	7/14	50 名
塗料基礎講座 11 講	8/5, 6	38 名
色材講演会 4 講	11/5	20 名
見学会	12/4	31 名

5.4 中部支部

講座名	開催日	参加者
色材セミナー 4 講	3/26	31 名
色材オブザベーション（見学会）	6/19	17 名
色材分析講座 6 講	9/26	16 名
第 44 回中部化学関係学協会支部連合協議会秋季大会	11/29, 30	—
色材アドバンスセミナー 4 講	12/16	33 名

5.5 関連学会・協会との共催・協賛による事業

行事名	主催	開催日
日本技術士会化学部会講演会	日本技術士会	1/23
第179回腐食防食シンポジウム	腐食防食学会	2/6
平成25年度第3回講演会	日本塗装技術協会	2/14
第134回ラドテック研究会講演会	ラドテック研究会	2/19
日本技術士会化学部会講演会	日本技術士会	2/27
第69回顔料工学講座	日本顔料技術協会	3/5
日本技術士会化学部会講演会	日本技術士会	3/27
第56回顔料・色材基礎講座	日本顔料技術協会	4/15～16
界面コロイドラーニング	日本化学会館	5/15～16
第19回製紙技術セミナー	紙パルプ協会	5/22～23
講話「レオロジー・クラシック」2014	日本レオロジー学会	6/2
重防食塗装に関する技術講習会	日本鋼構造協会	6/12
第25回キャタリススクール	触媒学会	6/23～27
平成26年度第1回講演会	日本塗装技術協会	6/27
マテリアルライフ学会 第25回研究発表会	マテリアルライフ学会	7/3～4
講習会	日本レオロジー学会	7/4
第34回防錆防食技術発表会	日本防錆技術協会	7/10～11
平成26年度公益財団法人神奈川科学技術アカデミー教育講座	神奈川技術アカデミー	7/15
日本技術士会化学部会講演会	日本技術士会	7/24
平成26年度アンコール福岡講演会	日本塗装技術協会	7/25
第32回関西界面科学セミナー	日本化学会	7/31～8/1
第34回農薬製剤・施用法シンポジウム	日本農薬学会	9/11～12
第52回紛体に関する討論会	紛体工学会	9/25～27
第70回顔料工学講座	日本顔料技術協会	10/8
第37回鉄鋼塗装技術討論会	日本鉄構造協会	10/8～9
第57回2014年紙パルプ技術協会年次大会	紙パルプ協会	10/8～10
第26回高分子基礎物性研究会講座	高分子学会	10/9
第19回高分子分析討論会	日本分析学会	10/16～17
塗料産業研究会×塗料報知新聞社	塗料産業研究所、塗料報知新聞社	10/17
第59回スガウェザリング学術講演会	スガウェザリング技術振興会	10/22
第64回ネットワークポリマー講演討論会	日本接着学会	10/22～24
第31回製剤と粒子設計シンポジウム	紛体工学会	10/23～24
第60回スガウェザリング学術講演会	スガウェザリング技術振興会	10/29
2014年度第2回P&I研究会シンポジウム	日本印刷学会	10/29
第40回腐食防食入門講習会	腐食防食学会	10/30
平成26年度第2回講演会	日本塗装技術協会	10/31
第16回日本表面科学会関西支部市民講座	日本表面科学会	11/2
第61回界面科学部会秋季セミナー	日本油化学会	11/4
第13回食品レオロジー講習会	日本レオロジー学会	11/6～7
第23回ポリマー材料フォーラム	高分子学会	11/6～7
第33回無機高分子研究討論会	高分子学会	11/13～14
日本色彩学会第2回秋の大会	日本色彩学会	11/14～15
第139回ラドテック研究会講演会	ラドテック研究会	11/19
第2回コロイド実用技術講座	日本化学会	11/19
講習会	日本レオロジー学会	11/21
国際紛体工業展東京2014	日本粉体工業技術協会	11/26～28
日本技術士会化学部会講演会	日本技術士会	11/27
2014年電気化学関東支部セミナー	電気化学会	11/28
第45回中部化学関係協会支部連合秋季大会	中部化学関係学協会支部連合協議会	11/29～30
第23回構造接着シンポジウム	日本接着学会	12/2
理研シンポジウム	理化学研究所	12/3
第21回ディスプレイ国際ワークショップ	映像情報メディア学会	12/3～5
第41回感性研究フォーラム講演会	繊維学会	12/6
先端技術講座	日本化学会	12/11
第34回レオロジー講座	日本レオロジー学会	12/11～12
第19回関西支部コロイド・界面科学実践講座	日本化学会	12/12
日本技術士会化学部会講演会	日本技術士会	12/18

6. 外部機関との交流

6.1 国内機関

6.1.1 共同事業

5.5で記したように、国内の各学協会などと共催・協賛で事業を行った。

6.1.2 交流

国内の49団体などと交流し刊行物の寄贈交換を行った。

6.2 海外機関

国名	機関名
アメリカ合衆国 (4)	1. A Division of the American Chemical Society Library 2. The Library of Congress 3. The Center for Research Libraries 4. Chemical Abstracts Service
ドイツ (3)	1. Forschungsinstitut für Pigmente und Lacke 2. Universitäts Bibliothek Hannover und Technische Informationsbibliothek 3. Vincentz Network GmbH & Co.KG
イギリス (2)	1. Information Center PIRA International 2. The British Library
ロシア (3)	1. Academy of Science of the Russian Library 2. All-Russian Institute of Scientific and Technical Information 3. Institut Nautchoi Informatisii Akademii Nauk Russia
中華人民共和国 (7)	1. THE International Exchange Section of the National Library of Peking 2. The Institute of Scientific Information, Academia China 3. Library, Exchange Section, Research Institute Of Chemical Processing and Utilization of Forest Products, Chinese Academy of Forestry 4. China National Chemical Information Center 5. China National Coatings Industrial Association 6. Changzhou Paint & Coatings Industry Research Institute Society of Coatings & Finishing of Ciesc 7. National Paint & Coatings Industry Information Center 7. The Editorial Office of Paint and Coatings Industry
イタリア (1)	Instituto di Chimica Industriale del Politedenico
オランダ (1)	TNO Industrie
シンガポール (1)	Chemical Technology Center, Technology Development Division, Singapore Productivity and Standards Board

6.3 関連機関

本年度は9月3-5日にドイツ ケルンで開催されたETCC 2014 FATIPECに小林副会長が、また、9月18-19日にオーストラリアメルボルンで開催されたSCAA Conference & CSI Meetingに森会長が色材協会を代表して参加した。

C S I	Coatings Societies International
F A T I P E C	Fédération d'Associations de Techniciens des Industries Des Peintures, Vernis, Émaux, et Encress d'Imprimerie De l'Europe Continentale. (Federation of the Associations of Technicians of the Paint, Varnish and Ink Industries of Continental Europe)

ACA	American Coatings Association
SCAA	Surface Coatings Association Australia
SCANZ	Surface Coatings Association New Zealand
SLF	Skandinaviska Lackteknikers Forbund
(FSPVT)	(Federation of Scandinavian Paint and Varnish Technologists)
SATER	Sociedad Argentina Da Tecnologos En Recubrimientos
STAR	Sociedad De Tecnologos Andinos Recubrimientos

7. 公益法人制度改革関連事項

昨年度の総会で報告した通り、平成 24 年 12 月 31 日に公益目的支出計画の実施完了の確認書を内閣府より受理しており、平成 26 年度事業報告書には記載事項はない。

8. 付属明細書

平成 26 年度事業報告書には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。